

たくましく、しなやかに、学び続ける生徒

暖かな春の陽気の中、4月7日(木)は始業式や入学式を実施し、令和4年度は新生森中生、総勢195名でスタートしました。始業式では新2年生と新3年生の代表生徒が新学期の抱負を述べ、全員が新たな学年の自覚を持つことが出来ました。入学式では、新1年生が緊張しながらも呼名で担任から自分の名前を呼ばれると、全員が元気な声で返事をすることが出来ました。



今年度は森中学校区において「ときわコミュニティスクール(学校運営協議会)」がスタートします。これは校区の保幼小中一貫教育の一層の充実を図り、家庭・地域の教育力も活用しながら、地域と共にある園や小中学校をめざしていきます。「ときわコミュニティスクール」では、予測困難なこれからの未来を担っていく子供たちには、自ら目標に向かって心身共にたくましく、しなやかな心をもって生涯学び続ける姿勢を身に付けてほしいと願っています。

保護者、地域の皆様、今年度も森中学校をよろしく願いいたします。

始業式の校長式辞では、生徒に向けても次のような話がされました。

豊かなる赤石ふもと山桜

校長 野口 和英

うらかな陽光、美しい花々とともに令和4年度、新生森中学校3年目がスタートしました。

さて、校内の桜は残念ながらだいぶ散ってしまいましたが、私たちは桜に心ひかれます。実は日本には桜が500種類以上もあるそうですが、いちばんよく目にするのがソメイヨシノです。本当に美しいなと思いますが、私が最も好きなのはヤマザクラです。ソメイヨシノは人の手で植えられたものですが、ヤマザクラは山に自生し、他の木々の中で一本だけで存在します。花びらの色はソメイヨシノよりも濃く、新緑との対比がととも美しいです。そして、美しさとともに力強さも感じます。特に三倉川、吉川沿いにはよく見られますから、ぜひ、探してみてください。



ところで、なぜ、ヤマザクラの話をしたかという点、今年度の森中学校のめざす姿と重なるからです。この4月から森小学校と森中学校ではコミュニティ・スクールというものが始まります。これは地域とともにある学校を目指すものです。今まで以上に小中が一体となり、地域と手を取り合ってより良い学校をめざします。その名も、「ときわコミュニティ・スクール」、「ときわ」という言葉は、森小の子たちにとっても森中の子たちにとってもなじみ深い言葉です。そして、森小・森中共通の目標、すなわちときわコミュニティ・スクール目標が「たくましく、しなやかに、学び続ける児童・生徒」です。



これを受けて、本校の今年の合い言葉を「自律」としました。3月の修了式でも皆さんには伝えましたね。今年度は、ずっとこの言葉を皆さんに伝え続けます。ここで、改めて「自律」の意味を確認します。自らの目標に向かって、自ら学び、自ら考え、判断し、自ら行動するということです。予測困難なこれからの時代を生き抜く皆さんにはとても大切な力です。学習、行事、部活動、あらゆる面で自律的に取り組むことで、ヤマザクラのごとく、美しく、強く、しなやかな生徒になってほしいと願っています。

それでは、令和4年度が皆さんにとって大きな飛躍の年となることを期待し、式辞といたします。

「対面式」を実施しました

8日(金)は、1年生と2・3年生の出会いの日でした。1年生に森中学校を知ってもらうために、生徒会役員が主催の「対面式」が行われました。感染症対策のため、集会形式ではなく、図書室からのリモート形式でしたが、生徒会の思考を凝らした学校クイズは、どこの学級も盛り上がっていました。1年生にとっても2・3年生にとっても楽しいひと時となりました。生徒会役員の皆さん、ごくろうさまでした。



「避難訓練」を実施しました

8日(金)の午後には、「避難訓練」を行いました。災害はいつ来るかもしれません。1年生にとっては、中学で災害が起こった際の避難方法を学ぶために2・3年生は避難の確認の為にを行いました。今回は地震が来る想定の下での訓練でしたが、全員が落ち着いて速やかに避難をすることが出来ました。



今年度の森中職員を紹介します。 1年間、よろしくお願いします!!



【お知らせ】

森中学校のホームページには「森中学校の今の様子」や、様々な情報が掲載されています。是非ご覧ください。

<https://mori-jh.mori-school.jp>

